

第3回 瀬戸内まなび塾 開催の様子

1 開催について

(1) 開催日時 平成27年8月26日(水) 13:30~16:30

(2) 開催日程

① アイスブレイク

講師 瀬戸内市教育委員会 総務学務課 指導主事(総括主幹) 浦上 巧

② 講義・演習「児童生徒が「分かった、できた」が実感できる授業づくり」

講師 岡山県総合教育センター教科教育部 指導主事 田野 利昭

(3) 参加者 市内小・中学校に勤務する先生方 37名参加

2 活動の様子



「岡山型学習指導のスタンダード」の活用方法について聴講している場面。



参加者がグループ内で模擬授業を行い、授業の導入部分について研究している場面。

3 参加者の感想

・小、中学校で校種も異なり、また、中学校でも担当教科が異なるグループでの話し合いや模擬授業だったが、大切なことはどの校種、教科でも同じだということが分かった。生徒の興味を引き起こすような導入、何を学んだのかをしっかりとまとめさせる、考えさせる終末などが大切という意見がグループ内の方々から出ていた。

授業の導入の大切さというものを改めて感じました。田野先生のように、「アルパカかわいいね」から、すぐに「アンデス」についての学習に入るのではなく、「アルパカはラクダ科だよ。ラクダはどこに住んでいるのだったかな?」と、少しずつ本時の内容に近づいていき、子どもが「気づいたら学習に取り組んでいた」というように授業を展開していくことが大切だと思いました。